

旧 RD 最終処分場有害物調査検討委員会資料

二次対策工説明資料

平成24年6月17日

滋 賀 県

目 次

1.二次対策工の基本的な考え方について.....	1-1
1.1 二次対策の課題と対策基本方針、対策工法の関係	
1.2 二次対策の概要	
1.3 対策工の原理と施工方法	

1. 二次対策工の基本的な考え方について

1. 1 二次対策の課題と対策基本方針、対策工法の関係

本件：旧RD最終処分場産業廃棄物不適正処分事案（仮称）においては、複数の“生活環境保全上の支障またはその生じるおそれ”が存在し、また、それらの支障発生の原因は複数の要素による複合要因となっている。そこで、これらの原因を抜本的に解決し、もっとも効率的かつ効果的な対策を行うためには、それらの複合要因すべてに対応可能な“総合的な対策の実施”が必要となる。

本件における“生活環境保全上の支障またはその生じるおそれ”と、“支障除去に必要な措置”、“対策の基本方針”、“対策工法”の関係について、図1-1に示す。
また、具体的な課題について、図1-2～図1-6に示す。

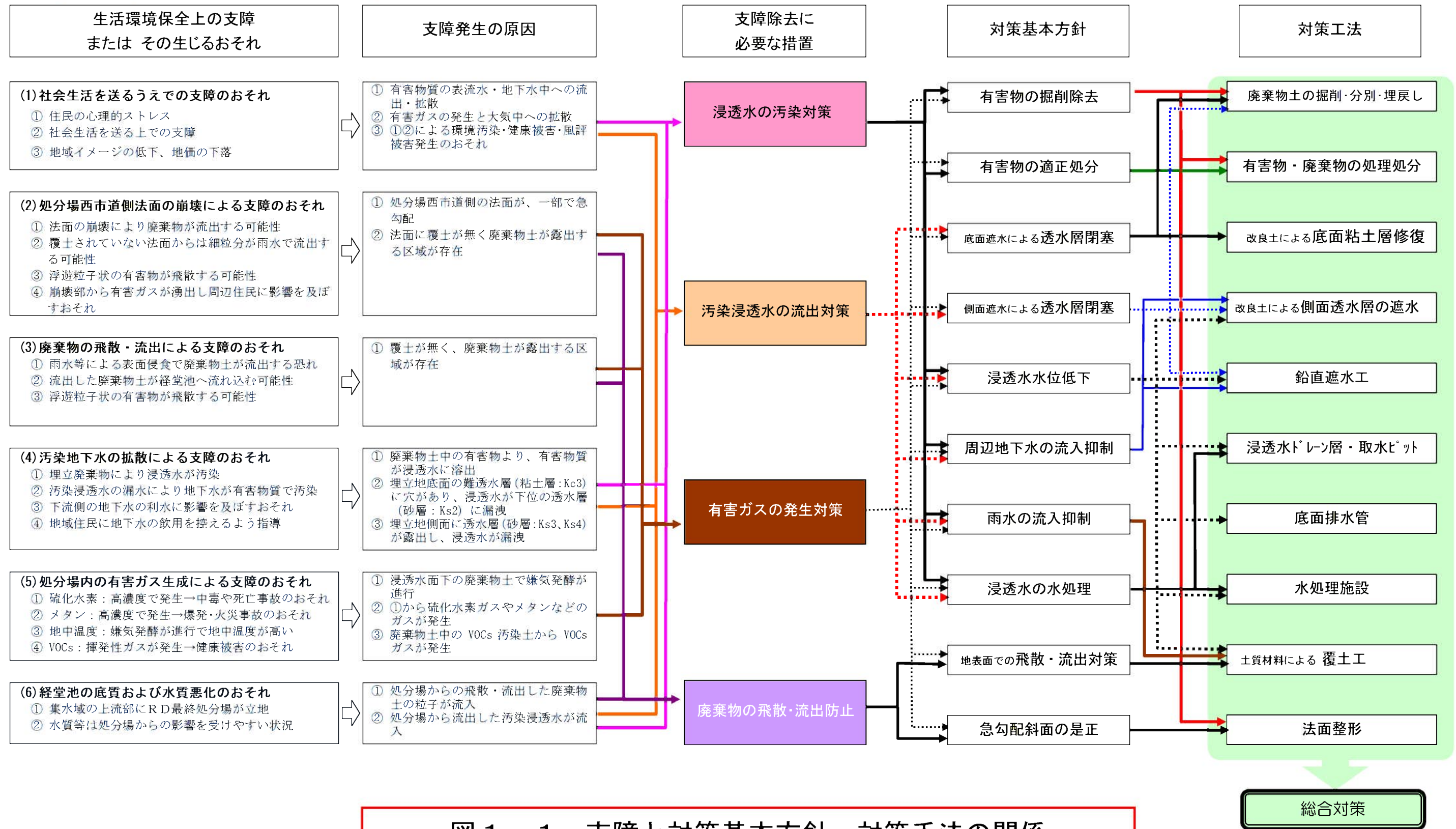


図1-1 支障と対策基本方針、対策手法の関係

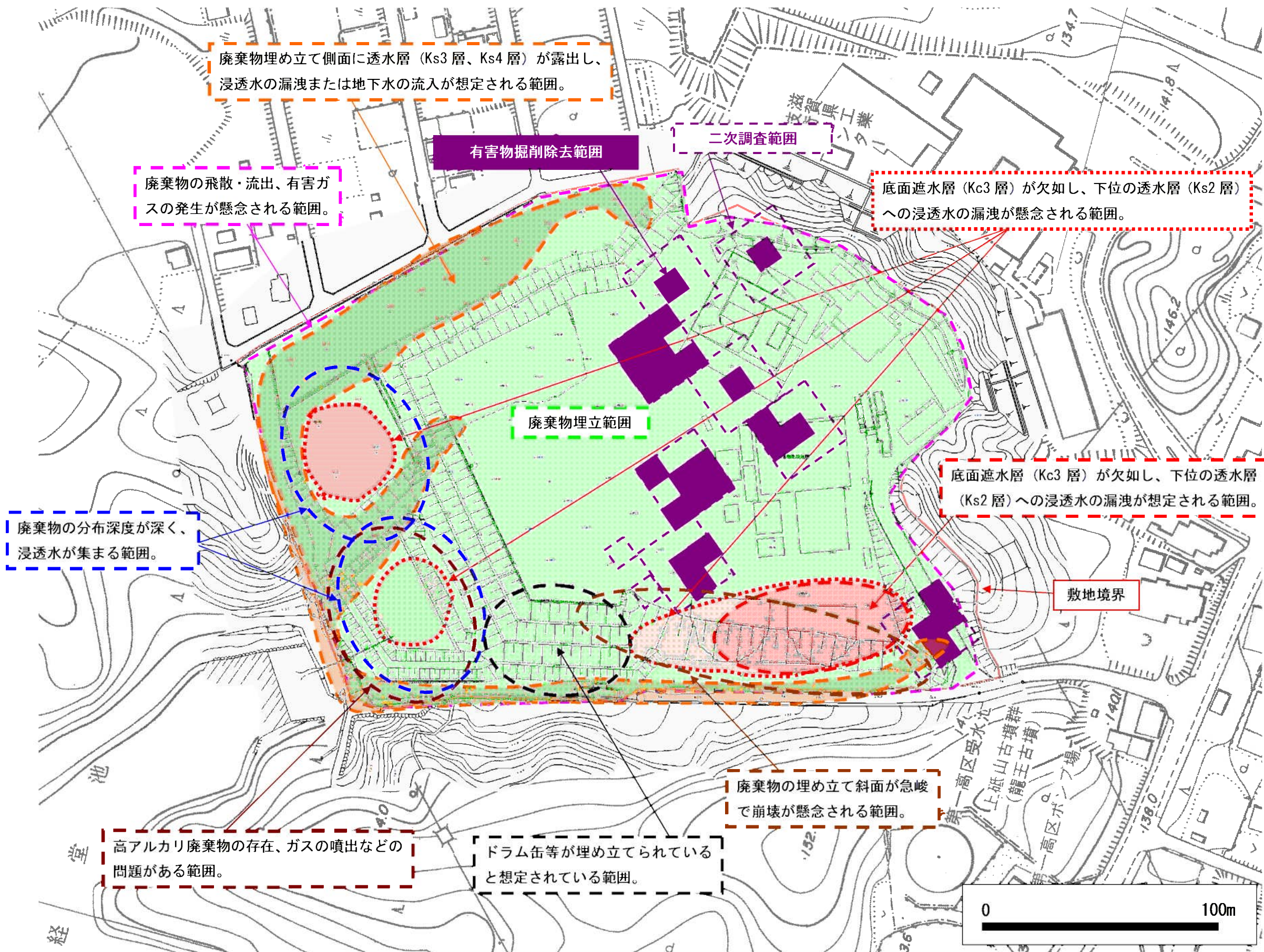


図 1 - 2 解決すべき課題のある箇所 (平面図)

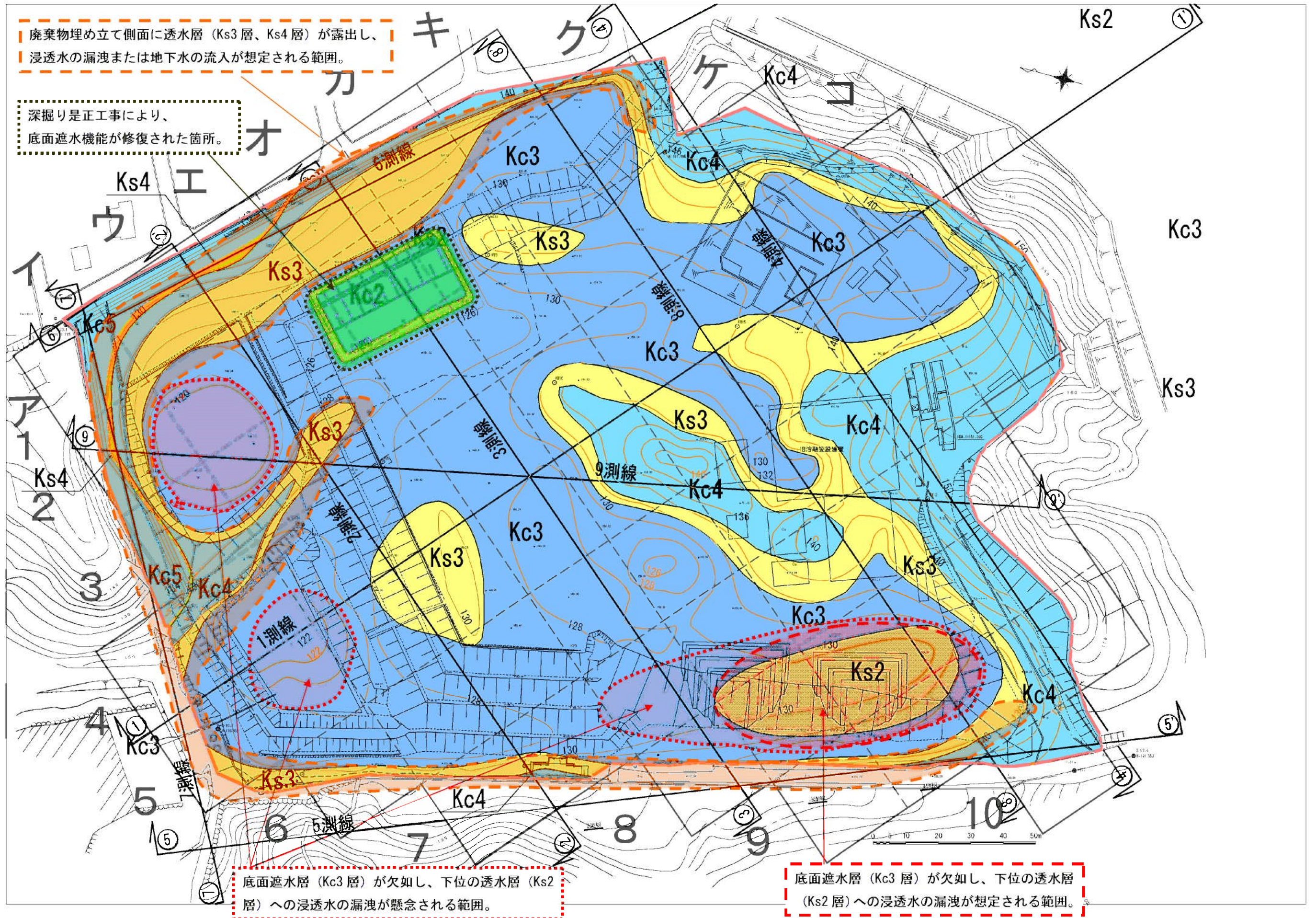


図1-3 解決すべき課題のある箇所（廃棄物底面 地質平面図）

1測線

浸透水に浸かっているため、メタン等の可燃性ガス、硫化水素の発生、有害物質の溶出が懸念される範囲。

覆土が無く、廃棄物の飛散・流出、発生ガス（メタン等の可燃性ガス、硫化水素）による支障が懸念される範囲

底面遮水層 (Kc3 層) が欠如し、下位の透水層 (Ks2 層) への浸透水の漏洩が懸念される箇所。

覆土が無く、廃棄物の飛散・流出、発生ガス（メタン等の可燃性ガス、硫化水素）による支障が懸念される範囲

浸透水に浸かっているため、メタン等の可燃性ガス、硫化水素の発生、有害物質の溶出が懸念される範囲。

廃棄物埋め立て側面に透水層 (Ks3 層、Ks4 層) が露出し、浸透水の漏洩または地下水の流入が想定される箇所。

地質凡例		
地層名	地質名	記号
盛土層	廃棄物	W
	粘性土	Bc
	盛土・埋土	B
沖積層	堆積物	A
古琵琶湖層群	粘土・シルト	Kc5
	砂質土	Ks4
	粘土・シルト	Kc4
	砂質土	Ks3
	粘土・シルト	Kc3
	砂質土	Ks2
	粘土・シルト	Kc2
	砂質土	Ks1
	粘土・シルト	Kc1
	砂質土	Ks1'
火山灰	Kt	
粘土・シルト	Kc0	

2測線

底面遮水層 (Kc3 層) が薄く、下位の透水層 (Ks2 層) へ浸透水が漏洩していると懸念される箇所。

廃棄物埋め立て斜面の崩壊が懸念される範囲。

覆土が無く、廃棄物の飛散・流出、発生ガス（メタン等の可燃性ガス、硫化水素）による支障が懸念される範囲

深掘り是正工事により、底面遮水機能が修復された箇所。

3測線

ドラム缶等の有害物が埋め立てられていると想定されている範囲。

廃棄物土が浸透水に浸かっているため、メタン等の可燃性ガス、硫化水素の発生、有害物質の溶出が懸念される範囲。

廃棄物埋め立て側面に透水層 (Ks3 層、Ks4 層) が露出し、浸透水の漏洩または地下水の流入が想定される箇所。

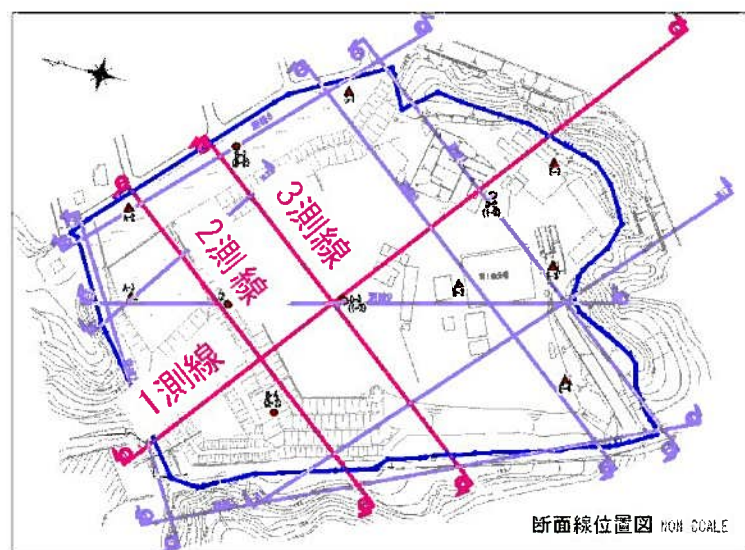


図 1 - 4 解決すべき課題のある箇所 (断面図: 1 ~ 3 測線)